



フォレスターうじ 会報

第272号

令和3年10月1日発行
森林ボランティア
フォレスターうじ

ホームページ : <https://forester.foresteruji.org>

九月定例活動の中止

九月十九日に予定していた定例活動は、京都府の緊急事態宣言が延長されたため、中止しました。

但し、会員六名と後援会員一名の計七名が九時半頃にフォレスターうじ広場に集まり、木工材料の整理と森林公園内の散策をしました。

先月に会長と二人で発見した槇尾山林道の倒木は、農林茶業課が我々の連絡の後すぐに伐倒処理をしてくれていました。処理した倒木を見ると直径三十cmほどあり、この大木が原因で数本が将棋倒しになったのではないかと思います。

みんなで木工材料の整理をしていたら、一人歩きの人、就学前の子供を連れた家族や女性二人連れなど、結構多くの人達が森林公園を訪れていました。駐車場には十台ほどの車、山は心も体も癒してくれるのだと思います。

私と後援会員は午前中で失礼しましたが、他の会員は作業の後、午後三時頃まで森林公園内を散策して森林の気持ちいい空気をいただき解散しました。途中で高さ四十cmほどのキノコ(マントカラカサダケ)を発見したとのことです。台風一過の森林公園でしたが、本当に気持ちよかったです。

(記 木曾 宗統)



9/19 散策中に発見した大キノコ (マントカラカサダケ)

エッセイ

山桃

新宮 邦春

六月初旬のことであった。後援会員から事務局宛に通のメールが届いた。その会員の散歩道に、山桃が熟してきたからいっしょに収穫してはどうか、と言う内容であった。

早速連絡の付いた四名で馳せ参じた。持参品はブルーシート、粘り気対策として軍手、そして思いもよらないビニール傘！？一体何に使うの？現場に到着後、その使い道が判明。

ブルーシートを敷き、傘を広げ、ひっくり返して持ち手を枝に引っかけ、実を受け取るのだ。枝を勢いよく揺るとポタポタと落ちてくる。体に当たる痛さも心地よい。大人の枝に登り体ごとゆすって少年時代の気持ちを思い出す。ワイワイがやがや楽しい時間を過ごした。

利用方法は水切りや種外しに手間が掛かるがジャムに加工や山桃酒。様々な理由で離れても、こうして交流が出来ると言うことは大変良いことだと思う、又戻って来られるようなフォレスターうじでありたい。



山桃 写真提供 インターネットのフリー写真

エッセイ

森林公園の思い出

木曾 宗統

九月十九日、家の者と一緒に森林公園に行った。行く三日ぐらい前から山へ散歩に行こうと誘っていたのだが、返事はない。当日の朝によく「本気なんやね、わかった」と重い腰を上げてくれた。一緒に歩いてくれるというだけで感謝しなければいけない。

実は家の者はフォレスターうじの古参で設立時からいる後援会員ではある。彼女にとって森林公園は十年くらいのご無沙汰であるが、山を歩いていると結構その時々思い出が蘇ってくるようだった。一番の思い出は丸太のログハウスを建てたことだ。四トトラックで丸太などの資材を運び、この細い道路を通ったときは本当に怖かったと楽しそうに話してくれた。

しかし、二十年以上前の花と緑のキャンペーンだったと思うが、僕とふたりで桜を植樹したことはすっかり忘れていた。でも、森林公園まで一緒に行ってくれたことに改めて感謝したいと思う。

フォレスターうじ 研修会

京北町樹々の会と交流見学会

行き先 京都市右京区京北地区 合併の森

日時 十一月七日(日) 午前八時

集合場所 JRR宇治駅前

参加費 一般二千円十層食代千五百円

樹々の会は京北町地元の女性林業グループです。女性の視点で森林振興に取り組んでいます。楽しい交流見学会です。参加希望の方はフォレスターうじ事務局(裏面)まで。

エッセイ

森林について学びの第一歩 京都の森林

林 幸広

二月の会報で森林について調べたことを書きました。今回は京都の森林について調べました。

京都の森林面積は約三十五万㎡で京都府の約七十五％が森林です。全国の森林面積は約二千五百万㎡なので、その一・四％が京都府の森林です。ちなみに宇治市の森林は三千三百六十三ha（天ヶ瀬は九十ha）で市域の約五十％になります。思ったより森林比率は高いですね。

府内の樹木の蓄積量（体積）は七千八百五十四万㎡もあり、毎年六十一万㎡（人工林で四十二万㎡）増えています。木材として使える四十六年生以上が七十四％で、十年後には八十九％になる見込みです。府内の木材需要は四十三万㎡で、府内産比率は約三十％です。府内産百％になれば需要と人工林からの供給が一致するのですが、うまくいかないのでしょうか。

こういう成熟した森林資源を伐採し利用した上で、跡地に再造林を行い、樹木の樹齢構成の平準化を進めることは全国的な課題のようです。天ヶ瀬森林公園にも檜の人工林がありますが、適宜伐採されて宇治市内の人工林の中では比較的良好な状態のようです。檜以外の森林をどのようにしていくのが良いのか、森の健康診断を行って今後の活動に反映できればいいな、と思っています。

森林ボランティアの一日体験

天ヶ瀬森林公園で、地球温暖化防止の森林保全活動を体験しませんか。ご興味のある方はフォレストアージュ事務局までご連絡下さい。いっしょにいい汗をかきましょう。

エッセイ

森づくりの循環

小林清二郎

林野庁では、健全な森づくりの循環を進めている。森づくりの循環は、

・植える 植林・実生・萌芽 下草刈り・防鹿柵
・育てる 枝打ち・間伐

・収穫する 主伐・上手に使う・木製品・燃料
これらを循環するのに、五十年から百年を要する。

そして、一年の内、出来る作業の時期がある。例えば、枝打ちは四月～七月の植物の成長期には行わない。一月・二月の寒いときには植樹しない。椎茸の収穫は秋と春などである。何時でも良い手入れ作業があるのは、勿論である。

これとは別に、大犯土表（つちひょう）がある。大犯土表は、千年以上の昔から、宮大工さん達に受け継がれてきたことで、樹木も生物である以上、人間と同じようにバイオリズムがあると考えると良いと思われる。活発に活動する時期と活動が沈滞化する時期が交互に訪れる。ひと月の間に木の切れる日があり、それ以外の抵抗力が落ちた時期に切ると虫が入り易くなり、除伐材を山に放置すると腐りやすくなる。

天ヶ瀬森林公園は、林野庁と京都府によって指定された生活環境保全林で、生活環境保全林百選に京都府で二件の内一つに選定されている。かつては、槇島町の薪炭林で炭釜跡が数ヶ所ある。現在は宇治市農林茶業課が管理している。

最近、里山が注目されている。里山は奥山ではなく、里に近い広葉樹林帯で放置されているのが自然になるといわれていたが、これは誤解であった。自然に任せたら、荒廃や災害が増加したのである。温暖化防止やCO₂削減、循環型社会に向かうなら、里山資源を上手く使う必要があると黒田慶子神戸大学大学院教授は講演会など言っている。

今後の活動・行事の案内

令和三年十一月以降の予定です。当月の定例活動の詳細は、当月の「活動案内」でお知らせします。

十一月定例活動
十一月二十一日（日） 天ヶ瀬森林公園
十一月特別活動
十一月七日（日） 京都市右京区京北地区合併の森
十一月特別活動
十一月二十八日（日） 宇治市生涯学習センター
十一月特別活動
十一月二十八日（日） 宇治市生涯学習センター
十一月特別活動
十一月二十八日（日） 宇治市生涯学習センター

・協力予定だった宇治市農林まつりは中止です。

フォレストアージュからのお知らせ

天ヶ瀬森林公園で、地球温暖化防止の森林保全活動を体験しませんか。フォレストアージュは新しい仲間を募集しています。

入会金 千円 年会費 二千円

活動日 毎月第三日曜日

活動場所 天ヶ瀬森林公園

森林ボランティア フォレストアージュ

事務局

宇治市折居台二丁目一―五

木曾 宗統 方

TEL 〇九〇―九二七〇―〇七六三

ホームページはこちらから←



編集後記

活動中止が続き、会報もホームページも編集や製作に工夫が必要です。是非とも記事や情報をよろしく。

（編集担当） 木曾 宗統
（写真担当） 林 幸広